

No.	410-020	事務事業名	法外援護災害救助事業				所属部	保健福祉部
							所属課	保健福祉政策課
政策体系	政策名	0 1	快適で魅力あるまちづくり				課長名	花堂 誠
	施策名	0 4	防災対策の推進				所属G(係)	政策グループ
	基本事業名	0 4	火災・救急・救助活動の推進				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 3	0 4	0 1	57015	法定外(火災)		
							霧島市法外援護災害救助条例	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
市内に住居を有する市民が、災害救助法の適用基準に達しない火災その他の天災地変等により、人命及び住家に損害を受けたときは、次に掲げる救助費を支給する。ただし、損害を受けた住家が貸借関係にある場合の救助費は、それぞれ、その2分の1の額とする。 ・死亡者のあった場合 1人につき100,000円 ・住家が全焼、全壊等の場合 1世帯につき50,000円 ・罹災による著しき負傷者1人につき30,000円又は住家の半焼半壊の場合 1世帯につき30,000円 ・住家の一部類焼の場合 1世帯につき10,000円						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 31 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度 )	

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
住宅火災14件、 住家全焼11件、一部類焼3件、死亡者2名(横川、牧園各1名)		ア	被災者
			人
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	被災世帯
消防局の情報により、災害状況を把握し、救助費支給基準に基づき見舞金等を被災者に交付。前年度と同様。		ウ	世帯
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
災害救助法の適用基準に達しない災害を受けた被災者及び遺族		名称	
		単位	
		ア	全世帯
			世帯
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
災害に対する見舞い		名称	
被災者に対する精神的支援		単位	
		ア	支援の一助を受けた世帯
			世帯
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
火災の被害が軽減される		名称	
救急時に早期に救命・救出がなされる		単位	
		ア	住宅用火災警報器の普及率
			%
		イ	応急手当技術の普及率
			%

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	1,745	675	670	4,500	
	事業費計(A)	千円	1,745	675	670	4,500		
			0	0	0	0		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,745	675	670	4,500		
活動指標	ア	人	28	10	15	0		
	イ	世帯	28	10	15	0		
	ウ							
対象指標	ア	世帯	53,129	53,583	53,893	54,170		
	イ							
	ウ							
成果指標	ア	世帯	28	10	15	0		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア	%	0.50	20.00	20.00	30.00		
	イ	%	6.90	8.20	8.70	9.60		
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
旧国分市が昭和31年、旧隼人町が昭和44年、旧霧島町が平成5年から、それぞれ法外援護災害救助条例等を制定し実施している。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
合併により、霧島市法外援護災害救助条例を制定した。旧3市町(国分、隼人、霧島)で実施されていたが全市域に適用されることとなった。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
・被災者からは概ね感謝されている。・被災者からは被災の日が休日、祝日等の前日の場合に見舞金の支給を被災当日にできないか、近隣に親族縁者等いない場合、一時的な住居の手配ができないか等の要望あり。	

事務事業名	法外援護災害救助事業	所属部	保健福祉部	所属課	保健福祉政策課
-------	------------	-----	-------	-----	---------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷		
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷		
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷		
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷		
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷		
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷			
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷		
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷		
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷		

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	法定外災害(火災等)被災者への生活及び精神安定の一助になっているので、適切な事務事業として評価できる。																							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善)   (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																								

No.	410-030	事務事業名	健康福祉まつり開催事業				所属部	保健福祉部
							所属課	保健福祉政策課
政策体系	政策名	0 5	たすけあい支えあいまちづくり				課長名	花堂 誠
	施策名	0 2	健康づくりの推進				所属G(係)	政策グループ
	基本事業名	0 1	市民の健康意識の向上				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0:3	0:1	0:1	40090	社会福祉総務費	なし	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
市民の健康増進、生活の質の向上及び福祉の啓発のため健康福祉まつりを開催します。 健康コーナー【健康・歯科・歯科矯正相談、献血】 福祉コーナー【福祉器具展示、介護・福祉・認知症相談、転倒予防教室】 式典・表彰【医療・健康づくり功労者、社会福祉功労者、8020運動表彰、健康福祉作品展(小・中学生)表彰、健康運動普及推進委員事例発表】 講演会(健康・福祉・介護関係)							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 19 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事業概要と同様	ア 来場数	人
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度内容に追加予定 【健康生きがいつくり推進モデル事業の事例発表】	イ 参加団体数	団体
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市民	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	単位
		ア 市民	人
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	健康・福祉に対する知識の普及を図り、福祉・健康意識が向上し健康づくりの関心が高まること。	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 各ブース参加者/来場者数	%
		イ 健康・福祉に対する知識の必要性を知り関心の高まった市民の数	人
結果(どんな結果に結び付けるのか)	自身の健康について関心を持ち、健康づくりのための知識を身に付ける。	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 栄養・運動・休養を心がけている市民の割合	%

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円		100	34	2,264	
		事業費計(A)	千円	0	100	34	2,264	
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	100	34	2,264		
活動指標	ア	人		未把握	2,500	3,100		
	イ	団体		20	26	26		
	ウ							
対象指標	ア	人		127,773	127,450	128,383		
	イ							
	ウ							
成果指標	ア	%		未把握	88	80		
	イ	人		未把握	2,500	3,100		
	ウ							
上位成果指標	ア	%		13.8	20.6	24.0		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 合併後にイベント調整会議の中で、社会福祉大会と健康大会を統一し、平成19年度より開催。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 特になし	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし	

事務事業名	健康福祉まつり開催事業	所属部	保健福祉部	所属課	保健福祉政策課
-------	-------------	-----	-------	-----	---------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 市民の健康増進、生活の質の向上及び福祉の啓発を目的とするので、結びついている。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 市民の健康増進、生活の質の向上及び福祉の啓発そのものが行政の役割である。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 市民	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 市民が健康福祉まつりを通して、健康・福祉に対する知識の必要性・感心をもっていただく。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 市民の健康増進、教養の向上及び福祉の増進の後退につながる。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 児童・生徒の作品募集等、事業の一部につき連携できる事業がある。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷		
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 著名講師による講演会等実施方法の検討。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 担当は最小限(1名の兼務)であるため。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 不特定多数の市民を対象としているので公平・公正である。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	一人でも多くの市民の方に参加していただくようさらなる検討が必要である。実質的に行政主体となっていることから、各関係機関・団体と行政の協働による実行体制の検討が必要である。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 1.平成21年度から庁外関係機関・団体を主とする実行委員会組織が事業実施することとする。 2.市民へ「まつり」の周知徹底を行う。広報の方法の検討が必要。 3.「まつり」の内容の検討が必要。従来の実施方法の見直しを含む。																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
実行委員会において課題を整理し、多角的に検討する。



No.	410-080	事務事業名	市社会福祉協議会運営支援事業				所属部	保健福祉部
							所属課	保健福祉政策課
政策体系	政策名	0 5	たすけあい支えあいまちづくり				課長名	花堂 誠
	施策名	0 3	地域福祉の推進				所属G(係)	政策グループ
	基本事業名	0 2	地域住民による支えあいの推進				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	特になし
	一般	0 3	0 1	0 1	40090	社会福祉総務費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
社会福祉協議会の運営費補助金として補助金を交付している。 (市の活動)社会福祉協議会に補助金を支出するための手続き(申請書の提出、交付決定、実績報告、補助金交付)を行う。 (社会福祉協議会の活動)ボランティア活動、相談事業等の各種事業 霧島市における社会福祉事業その他社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動(ボランティア活動、相談事業等の各種事業)の活性化により、地域福祉の推進を図る。						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 17 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		ア	社会福祉協議会ボランティア登録団体数
事務事業の概要と同じ		イ	ボランティア活動参加人数(社会福祉協議会登録者)
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		ウ	
前年度と同様			
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
社会福祉協議会		名称	
<補助金交付先>社会福祉協議会		ア	社会福祉協議会会員数
<補助対象活動>社会福祉事業の発展、市民福祉の向上を図る活動に要する経費		イ	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
社会福祉協議会の組織体制、財政基盤の充実活動の強化が図られる。		ア	世帯数
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
支えあい活動を行う。		ア	支えあい活動に参加した市民の数
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	63,000	63,500	63,500	63,500	
	事業費計(A)	千円	63,000	63,500	63,500	63,500		
			0	0	0	0		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	63,000	63,500	63,500	63,500		
活動指標	ア	団体	93	106	116	127		
	イ	人	2,830	3,782	3,460	4,000		
	ウ							
対象指標	ア	人	33,439	33,450	33,500	33,500		
	イ							
	ウ							
成果指標	ア	世帯	53,129	53,583	53,893	54,170		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア	件	15,159	15,167	15,260	15,370		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 社会福祉協議会の発足に伴い、その組織体制と活動強化のための支援を行う。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 合併後に、補助内容の統一を図った。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし。	

事務事業名	市社会福祉協議会運営支援事業	所属部	保健福祉部	所属課	保健福祉政策課
-------	----------------	-----	-------	-----	---------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 他に類似事業は無い。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷			
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	社会福祉協議会は、地域福祉の推進、市民福祉の向上のため、密接に行政と係わり、連携しなければならないことから、適切な事務事業として評価できる。																							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善)   (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			/	低下	/		
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持			/																				
	低下	/																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																								

No.	410-090	事務事業名	市遺族会連合会運営支援事業				所属部	保健福祉部
							所属課	保健福祉政策課
政策体系	政策名	0 5	たすけあい支えあうまちづくり				課長名	花堂 誠
	施策名	0 3	地域福祉の推進				所属G(係)	政策グループ
	基本事業名	0 2	地域住民による支えあいの推進				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 3	0 1	0 1	40090	社会福祉総務費	なし	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
遺族の連帯とその活動を補助することにより、会員の福祉の向上及び平和活動の推進に資する。 市が交付している補助金は、霧島市遺族会連合会の運営補助として遺族会の活動にかかる経費の一部として使用されている。 霧島市遺族会連合会は、戦没者の遺族(父母、妻、兄弟、遺児)が会員となっている任意団体であり、市が主催する慰霊祭・追悼式、国、県が主催する慰霊祭等への参加を行っている。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (      年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)																																							
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) <支援を行った霧島市遺族会連合会> 市が主催する慰霊祭・追悼式、国、県が主催する慰霊祭へ参加  21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度と同様  対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 霧島市遺族会連合会 <補助金交付先>霧島市遺族会連合会 <補助対象活動>運用及び活動(福祉の向上)に要する経費  意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 慰霊祭・追悼式等の活動が継続できる  結果(どんな結果に結び付けるのか) 支えあい活動を行う		<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 各慰霊祭、追悼式に参加した人数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>イ 補助金交付団体数</td> <td>団体</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">対象指標(対象の大きさを表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 遺族会連合会の会員数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 各慰霊祭、追悼式に参加した人数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 支えあい活動に参加した市民の数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>		名称	単位	ア 各慰霊祭、追悼式に参加した人数	人	イ 補助金交付団体数	団体	ウ		対象指標(対象の大きさを表す指標)		名称	単位	ア 遺族会連合会の会員数	人	イ		ウ		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		名称	単位	ア 各慰霊祭、追悼式に参加した人数	人	イ		ウ		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		名称	単位	ア 支えあい活動に参加した市民の数	件	イ		ウ	
名称	単位																																								
ア 各慰霊祭、追悼式に参加した人数	人																																								
イ 補助金交付団体数	団体																																								
ウ																																									
対象指標(対象の大きさを表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 遺族会連合会の会員数	人																																								
イ																																									
ウ																																									
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 各慰霊祭、追悼式に参加した人数	人																																								
イ																																									
ウ																																									
上位成果指標(結果の達成度を表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 支えあい活動に参加した市民の数	件																																								
イ																																									
ウ																																									

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	406	406	388	388	
	事業費計(A)	千円	406	406	388	388		
			0	0	0	0		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	406	406	388	388		
活動指標	ア 人		356	335	242	250		
	イ 団体		1	1	1	1		
	ウ							
対象指標	ア 人		587	587	587	587		
	イ							
	ウ							
成果指標	ア 人		300	300	242	240		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア 件		15,159	15,167	15,260	15,370		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 市が主催する慰霊祭・追悼式、国、県が主催する慰霊祭へ参加	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 年々高齢者になり、会員数が減少している。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし	

事務事業名	市遺族会連合会運営支援事業	所属部	保健福祉部	所属課	保健福祉政策課
-------	---------------	-----	-------	-----	---------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	戦没者遺族の福祉の増進、平和の維持に貢献している。	
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	平和の維持と、遺族等の思いを考えれば妥当と思われる。	
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象者は、年々減少しているが、現行のとおり	
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	今後新規の遺族会員が出ることはないための現状のままである。	
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	国、県等上位団体と連動して、平和維持や会員相互活動を実施しており、廃止することは適当でない。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷	類似事業が無く、他に手段が無い。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷		
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	補助金積算方法を統一したため	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	事業に係る人件費は、補助金公布・精算のための人件費であり、補助金交付のためには最低限必要な事務である。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	高齢化・対象者数の減少が進み、戦争被害者である遺族会員の生活安定のため必要である。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	戦没者遺族については高齢化・減少が進んでいるが、遺族の連帯とその活動を補助することにより、会員の福祉の向上及び平和活動の推進に資することから、適切な事務事業であると評価できる。																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																									



No.	410-100	事務事業名	市傷痍軍人会運営支援事業				所属部	保健福祉部
							所属課	保健福祉政策課
政策体系	政策名	0 5	たすけあい支えあいまちづくり				課長名	花堂 誠
	施策名	0 3	地域福祉の推進				所属G(係)	政策グループ
	基本事業名	0 2	地域住民による支えあいの推進				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 3	0 1	0 1	40090	その他社会福祉総務費	特になし	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
傷痍軍人会員の団結を強固にし、親睦と福祉を図るとともに円満な家庭と平和な社会を築くことを目的とし、地区、市、県、全国での慰霊祭、追悼式関係事業に参加する。 市が交付している補助金は、傷痍軍人会の活動にかかる経費の一部として使用されている。 組織の構成は、市内に居住している傷痍軍人及びその妻である。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (            年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (            年度 ~            年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) < 傷痍軍人会の活動 > 市の追悼式に参加 各地区役員会、清掃活動。		ア	追悼式に参加した会員数
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度と同様		イ	傷痍軍人会員の役員会実施回数
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 霧島市傷痍軍人会 < 補助金交付先 > 傷痍軍人会 < 補助対象活動 > 運営及び活動(福祉の増進)に要する経費		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 会合・追悼式等の活動が継続できる。		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 支えあい活動を行う。		ア	霧島市傷痍軍人会の会員数
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		ア	追悼式に参加できた会員数
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		ア	支えあい活動に参加した市民の数
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳						
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	79	79	72	72	
	事業費計(A)	千円	79	79	72	72		
				5	5	5	6	
				0	0	0	0	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	79	79	72	72	
活動指標	ア	人	356	335	138	138		
	イ	回	20	20	20	20		
	ウ							
対象指標	ア	人	126	122	122	122		
	イ							
	ウ							
成果指標	ア	人	380	359	138	138		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア	件	15,159	15,167	15,260	15,370		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
先の戦争において、仲間を亡くし、心も身体も傷ついた状態であった傷痍軍人の傷を癒し、後世の日本平和を願って設立されるが、これらの運営を支え、傷痍軍人の健康及び福祉増進を図る為、支援を行う。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
対象者が、年々高齢化し活動する人が少なくなっている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特になし。	

事務事業名	市傷痍軍人会運営支援事業	所属部	保健福祉部	所属課	保健福祉政策課
-------	--------------	-----	-------	-----	---------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘	なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input type="checkbox"/> 連携できない ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↘	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	会員は高齢化・減少しつつあるが、傷痍軍人会員の団結を強固にし、親睦と福祉を図るとともに円満な家庭と平和な社会を築くという目的達成のために適切な事務事業として評価できる。																							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>▲</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>▲</td> <td>▲</td> <td>▲</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			▲	低下	▲	▲	▲
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持			▲																				
	低下	▲	▲	▲																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																								

No.	410-110	事務事業名	戦没者追悼式開催事業				所属部	保健福祉部
							所属課	保健福祉政策課
政策体系	政策名	0 5	たすけあい支えあいまちづくり				課長名	花堂 誠
	施策名	0 3	地域福祉の推進				所属G(係)	政策グループ
	基本事業名	0 2	地域住民による支えあいの推進				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 3	0 1	0 1	40090	社会福祉総務費	特になし	

<b>事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)</b> 戦没者を追悼することにより、先の戦争において散華された英霊を顕彰し、戦没者に追悼の意を表すとともに、平和の維持への誓いを新たにす。 毎年実施。 招待者 戦没者遺族・来賓(市議、県議、その他) 主催者 霧島市		<b>事業期間</b> <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (      年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度)
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

**1 現状把握の部(DO)**

<b>(1) 事務事業の目的と指標</b> 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 7月18日開催 会場手配、会場設営の打ち合わせ、当日担当の割り振り、会場準備、開催(10時開式約2時間) 21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度と同様 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 戦没者遺族 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 戦没者に対する追悼の気持ちと平和への認識 結果(どんな結果に結び付けるのか) 支えあい活動を行う		<b>活動指標(事務事業の活動量を表す指標)</b> <table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>戦没者追悼式出席者</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table> <b>対象指標(対象の大きさを表す指標)</b> <table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>遺族会の数</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table> <b>成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</b> <table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>戦没者追悼式の遺族会の出席者/戦没者追悼式出席者</td><td>%</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table> <b>上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</b> <table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>支えあい活動に参加した市民の数</td><td>件</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table>	名称		単位	ア	戦没者追悼式出席者	人	イ			ウ			名称		単位	ア	遺族会の数	人	イ			ウ			名称		単位	ア	戦没者追悼式の遺族会の出席者/戦没者追悼式出席者	%	イ			ウ			名称		単位	ア	支えあい活動に参加した市民の数	件	イ			ウ		
名称		単位																																																
ア	戦没者追悼式出席者	人																																																
イ																																																		
ウ																																																		
名称		単位																																																
ア	遺族会の数	人																																																
イ																																																		
ウ																																																		
名称		単位																																																
ア	戦没者追悼式の遺族会の出席者/戦没者追悼式出席者	%																																																
イ																																																		
ウ																																																		
名称		単位																																																
ア	支えあい活動に参加した市民の数	件																																																
イ																																																		
ウ																																																		

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	221	184	265	151		
	事業費計(A)	千円	221	184	265	151			
			0	0	0	0			
	トータルコスト(A)+(B)	千円	221	184	265	151			
活動指標	ア	人	356	335	237	250			
	イ								
	ウ								
対象指標	ア	人	587	587	587	587			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア	%	42.0	39.0	58.2	55.2			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア	件	15,159	15,167	15,260	15,370			
	イ								
	ウ								

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b> この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 終戦後、戦没者への慰霊と、遺族に対する哀悼の気持ちをささげるため開催された。 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 現在では遺族の高齢化が進み、追悼式の参加者が年々減少してきている。 この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 合併により、開催場所が遠くなり移動が大変(遺族会会員)。よって参加者も少なくなった。	
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

事務事業名	戦没者追悼式開催事業	所属部	保健福祉部	所属課	保健福祉政策課
-------	------------	-----	-------	-----	---------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	戦没者を追悼することにより、先の戦争において散華された英霊を顕彰し、戦没者に追悼の意を表すとともに、平和に対する市民意識高揚を図るために、適切な事務事業であると評価できる。ただし、開催日の固定化を図る必要がある。																						
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			/	低下		/	
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持			/																				
	低下		/																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																								



No.	410-170	事務 事業名	民生委員活動支援事業				所 属 部	保健福祉部
							所 属 課	保健福祉政策課
政策 体系	政策名	0 5	たすけあい支えあいまちづくり				課 長 名	花堂 誠
	施策名	0 3	地域福祉の推進				所 属 G(係)	政策グループ
	基本事業名	0 2	地域住民による支えあいの推進				電 話 番 号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	民生委員法
	一般	0 3	0 1	0 1	40010	民生委員関係経費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
社会奉仕の精神をもって、常に住民の立場にたつて相談に応じ、必要な援助を行い社会福祉の増進に努める民生委員児童委員協議会連合会へ補助金を交付し、民生委員児童委員が行う活動及び運営に対して支援を行う。 民生委員児童委員協議会連合会とは、旧市町単位に7つの民生委員児童委員協議会があり、市の合併に合わせ7団体を1つの組織としてとりまとめるため組織された任意団体である。							<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
							<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 23 年度 ~ )	
							<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ ( 年度 ~ 年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) < 民生委員児童委員の活動 > ・役員会、研修会 ・日常の相談、支援活動 ・一人暮らしの高齢者世帯等の実態把握		ア	相談・支援件数
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度と同様		イ	活動日数
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 民生委員児童委員 < 補助金交付先 > 霧島市民生委員児童委員協議会連合会 < 補助対象活動 > 運営及び活動(人格識見の向上、必要な知識の習得)に要する経費		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 必要な知識を習得することにより資質が向上する。		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	
		ア	民生委員児童委員数
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 支えあい活動を行う		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	1人あたりの活動日数
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	支えあい活動に参加した市民の数
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)		
投入量	事業内 財源内 訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	34,943	35,328	31,740	32,496	
		事業費計(A)	千円	34,943	35,328	31,740	32,496	
トータルコスト(A)+(B)		千円	34,943	35,328	31,740	32,496		
活動指標	ア	件	12,375	12,189	12,233	12,300		
	イ	日	41,771	42,256	42,409	42,410		
	ウ							
対象指標	ア	人	275	275	276	276		
	イ							
	ウ							
成果指標	ア	日	151	153	153	153		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア	人	15,159	15,167	15,260	15,370		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
昭和23年7月民生委員法が施行された後に民生委員活動支援事業を実施	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
高齢者世帯や子育て世帯等をとりまく環境の変化、住民の福祉ニーズの多様化のため、民生委員児童委員の活動内容が複雑化してきている。このような状況から、新たな民生委員児童委員の推薦を辞退されるケースが多く、委員の確保が大変困難になっている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
高齢者・少子化対策が問われる中、地域住民の相談窓口として民生委員児童委員の存在は大変大きいという市民の意見がある。一方で、地域の担当民生委員児童委員が誰なのかわからないという意見もある。	

事務事業名	民生委員活動支援事業	所属部	保健福祉部	所属課	保健福祉政策課
-------	------------	-----	-------	-----	---------

2 評価の部 (SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 社会福祉の増進に努める民生委員児童委員の活動を支援することは支えあい活動につながる。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 社会奉仕の精神をもって、常に住民の立場にたつて相談に応じ、必要な援助を行っている民生委員児童委員が行う活動及び運営に対しての支援であるので妥当。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 住民の福祉の増進を図るための活動をしている民生委員児童委員を対象とし、意図を民生委員児童委員が民生委員法により義務付けられている、必要な知識の修得・人格識見の向上に努めることとしているので、妥当である。
有効性評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 個人情報を取りまく問題から、民生委員児童委員がその活動に必要な個人情報が提供されないという状況にあるため、民生委員児童委員協議会連合会理事会等で協議し、行政がその活動に必要な個人情報を適切に提供できるようにすることにより、成果の更なる向上が期待できる。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 民生委員児童委員活動に必要な知識の習得の機会が減少する。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 他に類似事業が無い。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 民生委員児童委員は、社会奉仕の精神の基にボランティアで活動しているため、事業費の削減はできない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 必要最小限の人員で事務処理をしているため、削減余地は無い。
公平性評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 受益者負担は無い。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	民生委員は、ますます複雑多様化する住民の福祉ニーズに対して、最も身近なところで住民の立場にたつた活動を行う必要があることから、適切な事務事業であると評価できる。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案>	<table border="1" style="text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
----------------------------------